

経営に関する最新情報をお届けします！

経営トピックス

Management topics



デザインを経営に役立てよう!!

～企業・商品・サービスの付加価値向上策～

町田市経営診断協会 安藤 昌明 (中小企業診断士、1級販売士、デザイナー)

皆さまの「企業・商品・サービス」は、ライバル他社と比較して差別化できていますか？

昔であれば、画期的な製品を開発できれば、また他にないサービスを生み出せば、比較的差別化できました。しかし、今は新たなアイデアが出づらく、なかなか革新的な商品・サービスが生まれづらい時代です。そのため、経済産業省では企業に対し、新たな差別化戦略として「デザインによる付加価値向上」を推進しています。

海外では、デザインを活用して付加価値向上に成功している企業があります。その代表例がアップルです。意外と思われませんが、アップルは20年ほど前、重度の経営危機に陥っていました。しかし、デザインを重視したiM

acがヒットし、(もちろん、他の要因もたくさんありますが)経営が回復しました。その後、iPhone、iPad、Mac Book、Apple Watchなど、優れた製品デザインを生み出したのはご存じの通りです(もちろん、機能やビジネスモデルもすごいですよ)。また、CM、Webサイトなどの広告媒体、商品パッケージ、アプリストア(店舗)など、デザイン的に統一感を持たせたイメージ戦略も見事で、結果、アップルの企業価値を世界トップクラスに引き上げました。

日本企業は、海外と比較してデザイン活用の取り組みが遅れている状況です。しかし、最近ではデザイン戦略を強化し、成果を出している企業が増えていきます。デザインの重要性が解った企業は、いち早く経営向上のチャンスを得ているのかもしれない。

前置きが長くなりましたが、今月の経営トピックスでは、デザインを活用して企業・商品・サービスの付加価値向上を行うためにはどうすれば良いのかについて、ポイントをお伝えします。

【コンセプトを考えましょう】

ターゲット層に対して視覚的に的確なイメージを与えるためには、見た目の良さだけでなく根本的な部分を考えることが重要です。それが、「コンセプト」です。例えば、経営戦略を考える際、「誰に対して」「何を」「どのように提供する」を設定しますが、デザインも同じです。

また、企業をアピールするWEBサ

イトやチラシでしたら、経営理念やビジョンも考慮して、デザインを考えるの良いでしょう。

【イメージカラーを決めましょう】

色には意味があります。「青」は「冷静」「知的」、「赤」は「情熱」「活気」、「黒」は「高級」「上質」といった感じですね。コンセプトを元にイメージカラーを決めると良いでしょう。

【ロゴとマークを作りましょう】

企業をイメージさせるロゴとマークも、コンセプトを考慮し作成しましょう。直感で企業のイメージが伝わるデザインが良いです。ロゴとマークは名刺にも掲載するため、小さくしても、ゴチャツとならないデザインにすることが重要です。

【デザインを考えましょう】

理屈っぽく考えると、見た目つまらないデザインになってしまいます。逆に、コンセプトを考慮せず何となく制作すると、見る側に響かないデザインになってしまいます。

私の持論ですが、「理屈と見た目が融合したデザイン」が、ベストであると考えております。

制作者や決定権者の好みでデザインを考えると、失敗しやすくなります。

あくまで、判断する人は顧客(ターゲット層)です。作成したら、仲の良い顧客やターゲット層に近い知り合いに、デザインを見せて意見をもらいましょう。「このデザインにした理由は、カッコイイから」というような決め方は避けましょう。大切なのは「ターゲット層に受けるデザインにする」とい

う気持ちを持つことです。

紙媒体、WEBサイト、看板、店舗などのデザインに統一感を持たせると良いです。見る側に「企業・商品・サービス」のイメージを連動させて植え付けられるからです。これを「視覚の統一」と言います。また、各媒体にロゴとマークを載せておくことも、視覚の統一の一環になります。

【外部デザイナーに依頼する時は?】

デザイナーに、依頼内容や「企業・商品・サービス」に関する様々な情報を明確に伝えましょう。デザイナーがイメージしやすくなります。お互いの意思疎通が図れ、スムーズに完成に向かうことができます。

コミュニケーション能力が高いデザイナーに依頼しましょう。貴社の意向を汲み取ってくれ、対応力が早いなどのデザイナーが良いです。また、貴社の成功のために制作を行う気持ち強いデザイナーに依頼しましょう。

必ず契約書結びましょう。納期や料金などを明確にしておくことにより、お互い良い意味で緊張感を持った仕事ができます。もちろん、トラブル防止にもなります。

日本の企業はデザイン活用の取り組みが遅れている状況です。であれば、ライバル他社に先駆けて取り組めば、ビジネスチャンスに繋がりがやすくなるのではないのでしょうか?デザインを有効活用して、「企業・商品・サービス」の価値を向上させましょう!!